

平成 22 年 10 月 日  
レディース委員会  
三 浦 多 満 枝

第 65 回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」2010  
チャイルドルーム報告書

日 時：平成 22 年 9 月 26 日（日）～9 月 29 日（水）  
時 間：午前 9 時～午後 5 時（最終日は、午後 4 時まで）  
場 所：千葉市稲毛ヨットハーバー内、管理棟 2 階（和室他）

主 旨：大会期間中、乳幼児と共に参加する選手の為の環境を整え、便宜をはかり、男女とも同じ条件でレースに参加できる事。

使用目的：①乳幼児の食事及び授乳  
②乳幼児の着替え、おむつ替え  
③乳幼児の一時就寝  
④乳幼児、児童の休憩及び託児

使用手続：事前申し込み

\*施設の概要をお知らせし、設置と運営方法の案内をする。事前受付ではお子さんの特記事項（癖や特徴など）等必要事項を記載していただき保育士との情報を共有する。

当日申し込み

\*施設利用の主旨を保護者に説明、児童は検温後問題がなければ入室許可。

利用資格者：競技に参加する選手、大会役員、大会関係者、観覧者

対象乳幼児：年齢 0 歳～6 歳程度

\*原則は保護者と同伴、ただし特別な理由がある場合を除く。

保 険：チャイルドルーム内での事故や盗難などに際し、レディース委員会で責任者賠償保険と傷害保険に加入しルーム利用者の安全を確保。

## 利用状況

	延べ利用人数	大会関係	応援関係	授乳他	その他
9/26	44	5	20	6	2
9/27	4	1	3	0	0
9/28	1	0	0	1	0
9/29	2	1	1	0	0

傾向：今年度の国体は初日が休日となり、多くの応援者がチャイルドルームを利用した。在住県が関東近郊、学生の頃にヨットをやっていたので、会場が近かったからセーリングしていた県を応援に来たと言う方が目立った。セーリング会場の近くには一般の方々が利用できる施設が沢山ありその関係で立ち寄りしたが、知っていれば託児してもらいヨットを見てみたかったという声もルームを利用こそしなかったが数回ありました。

備品：滑り台やトンネルネットなどがあり、体を動かすことが好きな子供やすぐ馴染めない子供には便利でした。折り紙や3Dの絵の具は子供たちに大変好評でした。

保育士：千葉県として現場の保育士を用意出来なかった為、運航と通信から日変わりでサポートをしていただきチャイルドルームの運営をしました。現場に慣れている先生方がルームに常駐した方が、より楽しく安全にルームの管理運営が出来ると思います。